

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2022年11月度）

- 参加手続きが完了しているISP（インターネット・サービス・プロバイダ）は**74社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**4,430件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**560件**の対象を検知しISPへ通知。

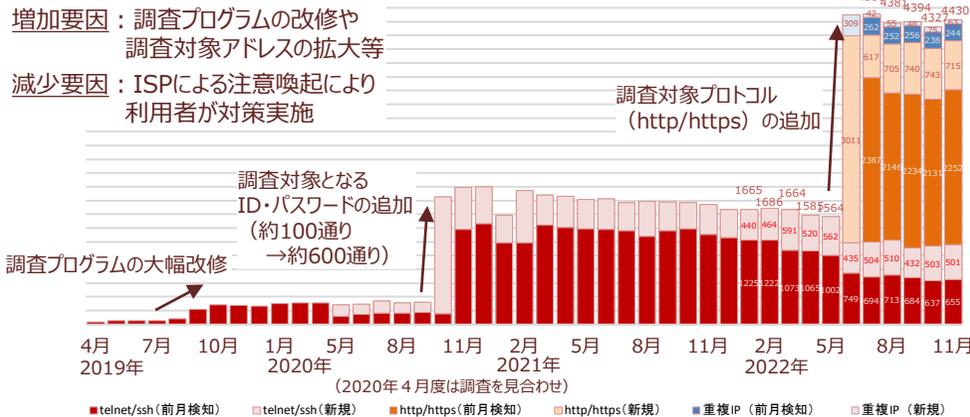
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

4,430件（10月度:4,327件）

（参考）2019年度からの累積件数：65,768件
ID・パスワードが入力可能だったもの：19.1万件

* 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



NICTER注意喚起※の取組結果

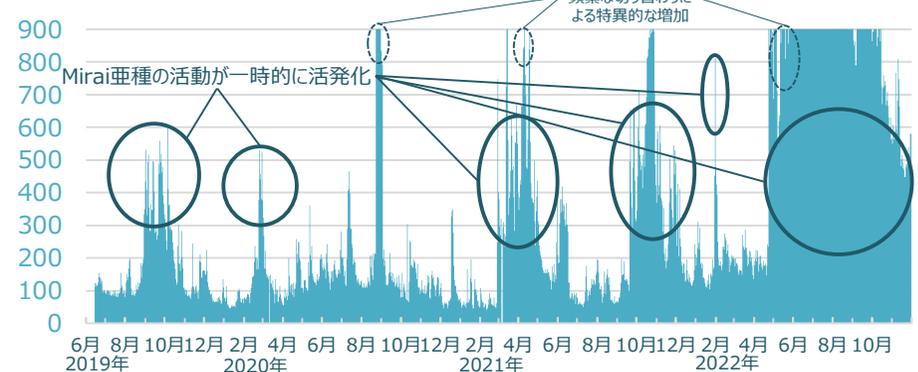
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均560件（10月度:817件）

（参考）期間全体での値：1日平均421件
最小：40件(2021/2/10)／最大：3,288件(2022/6/6)

** NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



- ✓ NOTICE注意喚起における2022年6月以降の大幅な増加は、調査対象プロトコル（http/https）の追加によるものであり、急激にリスクが高まった訳ではありません。
- ✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬以降の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。